

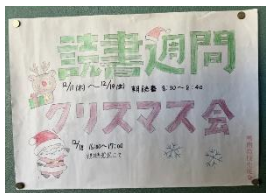


読書週間 ～本とともに始まる一日～

2025年12月12日

12月11日から19日まで「読書週間」を行っています。

いつもの朝学習の時間を「朝読書」として、全校で静かに本を読む時間です。教室にはページをめくる音だけが響き、生徒たちはそれぞれの本に集中しながら、一日の始まりを落ち着いた気持ちで迎えています。



ほんの数分でも本を開く習慣は、心を整え、授業への集中力を高める効果があるといわれています。

図書館では、今年のベストセラーを紹介するコーナーや、つい先日日本で開催

されたデフリンピックに関連して「音のない世界」に触れられる本を集めた展示も行われています。生徒たちが社会の動きや多様な価値観に触れるきっかけとなり、読書の楽しみがさらに広がっています。



また、図書委員会の皆さんが工夫を凝らして作ったポスターが廊下や図書館前に掲示され、読書週間の雰囲気を一層盛り上げています。18日には恒例のクリスマス会も予定されており、図書館を舞台に生徒たちが企画した温かな交流の場となります。

さらに、図書館では、上記の通り本棚の耐震工事も行いました。



地震の際に棚が倒れることのないよう、上下をしっかりと固定する補強を施し、安全な読書環境を整えました。安心して本と向き合える空間づくりも、学校の大切な役割です。



本を開く静かな時間が、生徒たちの心を育み、未来へとつながる力になることを願っています。

初任者研修・研究授業より ～理科化学「物質量」

2025年12月17日

本日4限、1年A組にて、理科の新井教諭による研究授業が行われました。今年度4月に本校へ初任者として赴任された新井先生にとって、初めての研究授業。初任者研修の一環として、校外外の先生方が見守る中での授業でした。



単元は「物質量」^{※1}。標準状態における気体1molの体積が22.4Lであることを、図や数値を用いて丁寧に説明しながら、生徒たちは物質量と気体の体積の関係を理解していきました。さらに、気体の密度に着目し、「空気より軽い気体」「重い気体」についても考察を深めました。



授業の後半では、演示実験が行われました。2.24L(0.1mol)の酸素を容器に詰め、実際に質量を測定。理論値(3.2g)と実験値(3.3g)を比較することで、理論と実測の違いを実感する場面もありました。また、同じく2.24Lのヘリウムを用

いた実験では、空気より軽いかどうかを視覚的に確かめる工夫もあり、生徒たちは興味深く見入っていました。

新井先生の落ち着いた語り口と、丁寧な板書・資料提示により、生徒たちは安心して学びに向かい、活発に発言する姿も見られました。



授業終了後は、別室にて授業の振り返りと総括が行われました。参観された先生方や指導教諭、そして、長野県総合教育センターよりお越しいただいた企画調査部専門主事の山本淳一先生にも



ご参加いただき、温かくも的確なご助言をいただきました。山本先生からは、**ロイロノート**^{※2}で配布した授業用プリント(書き込み型の資料)が「とても丁寧で分かりやすい」との評価をいただきました。

参観された先生方からも、授業準備や生徒との関わり方について具体的なアドバイスがあり、今後の授業改善に向けたヒントが多く共有されました。

研究授業を通じて得られた気づきや学びを、今後の授業改善に活かしながら、学校全体で教育の質を高めていきます。先生方の協働と生徒の真剣な学びが重なり合うことで、阿南高校の教育はさらに豊かになっていくことでしょう。

Hand Bell Concert 2025

2025年12月18日



本日3時間目、1年B組音楽選択者によるハンドベル演奏会が行われました。演奏前は緊張した面持ちも見られましたが、ベルの音が響き始めると一人ひとりが役割に集中し、澄んだ音色を奏でてくれました。

開場前に会場へ入ると、演奏が始まる直前まで、最後の練習に励んでいる生徒たちを見ることができました。音の強弱やテンポ、ミスしやすい部分を互いに確認し合い、真剣な表情で取り組む姿が印象的でした。仲間と声を掛け合いながら最終調整を行う姿からも、演奏に向けた強い思いが伝わってきました。最初に登場したツリー組は「うみ」「雪」「お正月」を演奏。季節の移ろいを感じさせる選曲です。続いてリース組は「赤鼻のトナカイ」「あわてんぼうのサンタクロース」を披露し、クリスマスらしい華やかさと楽しさを会場に届けてくれました。

ハンドベルは一人欠けても成り立たない楽器です。打つタイミングや音の止め方まで、互いに呼吸を合わせることが求められます。仲間と協力し合う姿勢が、音楽の美しさをさらに引き立てていました。



実は今週火曜日には1年A組の音楽選択者によるハンドベル演奏も行われていました。当日(来客もあり)直接聴くことはできませんでしたが、A組もきっと素晴らしいコンサートであったと想像します。仲間と協力し合いながら、冬の澄んだ空気に似合うハンドベルの響き、ありがとうございます。これからも仲間とともに新しい表現に挑戦していきましょう。



Library Committee Christmas Party 2025



2025年12月18日
本日放課後、図書委員会主催のクリスマス会が開催されました。多くの生徒が参加し、会場は温かな雰囲気に包まれました。

最初のプログラムは、ダンス同好会の二人によるスペシャルステージです。ソロでの演技に続き、最後は二人で息を合わせたパフォーマンスを見せてくれました。会場の生徒たちは手拍子で応援し、盛り上がりを一層高めていました。



続いて行われたのは、全員参加のビンゴ大会です。今回は定番の数字ではなく「本の名前」を使ったユニークな企画でした。コールされるたびに「読んだことがある本だ」「そういえばそんなタイトルもあったな」と思い出す声が聞こえ、ジャンルも多彩で、有名な作品から最近の本や漫画まで幅広く取り上げられていました。図書委員会ならではの工夫が光る楽しい時間となりました。

ビンゴで上がった生徒から順に、図書館で用意された景品を選んでいきました。雑誌の付録やポスター、クリアファイル、文具、カレンダーなど、毎年楽しみにしている生徒も多く、笑顔があふれるひとときとなりました。



図書委員会の皆さん、準備と運営をありがとうございました。参加した生徒の皆さんにとって、楽しいクリスマス会になったと思います。

校内に響いた探究の声 ー校内発表ー

2025年12月19日

今日の午後、校内の3つの教室で同時に探究発表が行われました。3年生進学コース「言語表現探究」と地域探究コース「地域探究Ⅱ」、それぞれの生徒が自分の言葉で学びを語り、教室のあちこちから真剣な声が響いていました。私は3教室を行き来しながら見てまわりました。

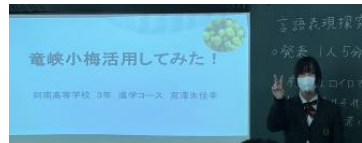
多様なテーマと生徒の主体性

発表テーマは本当に多彩でした。

・竜峡小梅を使った化粧水づくり
たぬきの皮をなめしてバッグを作成

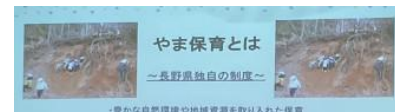
・南信州ナンバーの影響調査・地域の温泉や獅子舞の研究

・救命活動の普及、保護猫活動、やま保育の実践・吹奏楽部のインタビューやトンボの生態研究 などなど



それぞれが地域の文化や自然、個人の関心、未来の進路と結びついた探究であり、実際に「作る」「調べる」

「インタビューする」「アンケートをとる」といった実践を伴うものも多く見られました。生徒たちが自分の言葉で語り、作品や調査結果を通じて表現



する姿に、主体的な学びの力を感じました。

校内発表から地域へ

このように校内で全員が発表する取り組みは以前から続けてきたものです。その中から各分野の代表者を選出し、1月28日(水)午後には阿南町文化会館を会場に「探究学習成果発表会」を開催します。昨年度から始めたこの取り組みは今年で2回目となります。

冬至の日に ～懇談会・芋けんぴ作り～

2025年12月22日



今日は冬至。一年でいちばん昼が短く夜が長い日で、「これからまた光が戻ってくる日」とも言われます。学校の近くの畑では、ゆずが鮮やかな黄色に色づいていました。思わず写真を撮ってしまうほど、冬の光の中でよく映えていました。

冬至といえば、ゆず湯やかぼちゃなど、昔から無病息災を願う風習があります。季節の節目に、自然の恵みを感じながら過ごすことの大切さを改めて感じます。保護者懇談会が始まりました。

そんな冬至の日、今日から保護者懇談会が始まりました。2学期期末考査も終わり、卒業や進級に向けて、生徒・保護者・担任が向き合う大切な時間です。限られた時間ではありますが、学校での様子や家庭での様子、頑張ったこと、心配なことなどを共有しながら、次の一歩につながる懇談になればと思っています。

● 午後はサツマイモを使った準備作業

午後の空いた時間には、有志の生徒たちが調理室に集まり、この夏校庭で育ててきたサツマイモを使って「芋けんぴ作り」を始めました。

今日は、サツマイモを細く切るところまでの作業です。

水切りのためタオルの上に並べられたサツマイモですが、見ていだけで温かい気持ちになります。



明日は油で揚げて砂糖を絡め、明後日は袋詰めを行い、25日のクリスマスの日全校生徒へ配布する予定です。